

◎第3214回 例会 ふるさと兵庫 100山

但馬・和田山「雪の室尾山 629m へ」

開催日 2月12日(日) 天気：快晴

一王山支部 岡田 謙二

この例会は即満員御礼！（定員25名募集、中型バス利用の計画でした）12/17総務委員会で参加者へ弁当代が出ないという話で会議は終わり、忘年会に移行しました。宴話の流れで散策組を組み入れて大型バスで行きましょうと。その場で会長から神姫バスに電話、雪山組30名、散策組10名、総勢40名のバスハイクに変更されました。

朝、縦走弁当とお茶が配られ車中へ。コロナ禍で久しぶりのバスハイクということもあり朝から皆さんテンションアップ、天気も上々で賑やかな出発となりました。中国道、舞鶴道、豊岡道と



順調に進み、会長が車窓から見える山々を解説したり、濃霧の中を進んでいくうちに神秘的な景色に出逢えたり・・・

あっという間に室尾山登山口に到着。

雪山組のみ下車、散策組は出発を見送って城下町出石へ。（雪山組レポートは別記★参照）

午前10時ということもあって、神姫バス特

約蕎麦屋“み

くら”を11時に予約し出石城跡へ。登城門、登城橋で「はい、ポーズ」。

時間の都合で最上段の有子山稲

荷神社までは諦め、本丸跡から城下町へ。あちこち物色し、「ナイショの香住鶴」、農家直売の農産



物等、土産も調達し、予約の蕎麦屋へ。

出石そばの特徴は、出石焼の白い小皿にそばが盛られ、生玉子、とろろ芋、ねぎ、わさびが薬味として提供されます。残念ながらそばを載っている写真はありません。「忙しかった。」



お腹も満たされ、雪山組を迎えにいきます。雪山組は全員無事に下山、バスに乗車し与布土

温泉に向け走りだしました。



温泉でぬくもり癒された後は、さあ例会のメインイベント?!) 打ち上げ懇親会の始まりです！大広間を貸切って、持ち寄ったつまみお菓子をテーブルに広げ、湯上りの生ビールはサイコー！



持ち込まれた日本酒や白ワインはかなり本数あったにもかかわらず“あっという間”に無くなっていきました。



ほら、見てください！皆さんの楽しそうな笑顔♡時間許す限り懇親深めて楽しんで5時終了。「片づけて、帰るよー。」

帰りのバス中では皆さんほろ酔いで御機嫌宜しく、終始和やかに歓談の続きを楽しんでました。一升瓶も出てきました。「飲みたい人？」これまた“あっという間に完飲”でした。

三宮到着前、バス利用時には毎度お馴染みの神姫バスドライバー清原さんへ全員でお礼の拍手、今年度バスプラン計画中でまたお世話になります！午後7時、バスは三宮に到着、解散。その後、各所で反省会が催されたことは、言うまでもありません。

★雪山組 レポート&感想

一王山支部 中空慧玲



バスを降り、歩きだしてもまもなく雪山仕様に着込んでいた服を皆さん脱ぎます。直前に寒波到来で県北部は雪でした。この日風もなく、市内日中は15℃まで上がる予報。



落葉しマル裸の木々で登山道は太陽差し込み、足元の雪はシャーベット状の春の残雪といった感じ、結局アイゼンなしで歩けました。あまり

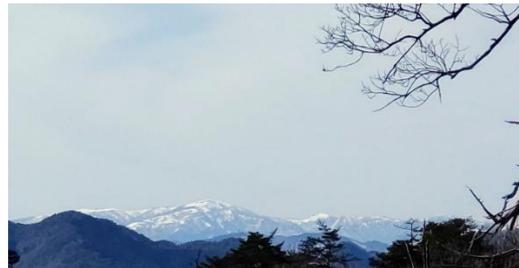
人が入ってないのか少し荒れた山道にフレッシュな鹿の糞をみたり、残雪をザクザク踏みしめのぼっていきます。（暖かい季節、ココは山ビル天国になるようです）



ザックからノコギリ出して倒木の処理に精をだす吉野会長

朝は濃霧、眺望どうかな？と思いましたが視界良好！中腹で彼方に雪化粧の美しい氷ノ山が見えました。

皆さん足止めてカメラ向けます。



山頂近づくにつれ勾配さらにキツくなり息はずまず。11時14分登頂！ほかにグループはなくヒヨコ貸切でした。



青空の下、

寒さなく雪景色の中で食べるお弁当は格別な美味しさ♪

下山開始。皆さん足運び速くサクサク、バスまで待合せに遅れることなく到着。乗車後配られた冷たい缶ビールをプシュッ！とあけゴクリ・・・ぷはあー♡

事前にバス停車場所確認などトンボ帰りで下見下さった吉野会長はじめ、この日のための周到な準備アレンジに感謝します。お天気に恵まれて懇親もでき、とても楽しめました！



キャンプ場広場の雪面、そこに映る木の影が美しく、思わず落書き遊び。

■法宝寺（ほっぽうじ） *当時は室尾寺

奈良期天平 20 年（748）に行基菩薩により男山中腹に開山創建され、全国的にも歴史が古いお寺。行基は奈良時代の名僧、民間布教やインフラ整備に力を尽くし、東大寺大仏の造立にも奔走貢献した。現在、近鉄奈良駅前行基像が東大寺を向いて設置されている。

817 年空海が訪れ本尊開眼。石清水八幡宮の別当寺として機能。鎌倉～室町時代に栄えたが江戸期以降街道から外れて勢力衰えた。

